

第2回 学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和4年10月14日(金) 午前10時から午前11時30分まで

2 会 場 静岡県立吉田特別支援学校会議室

3 参加者

○委員

【保護者】	畑 和幸 様	P T A会長
【学校運営に資する活動者】	藁科 知行 様	駿遠学園管理組合園長
【学識経験者】	横山 孝子 様	浜松学院大学教授
【その他】	栗林 均 様	社会福祉法人一羊会理事長

○学校

校 長	稲葉 敏光	副校長	池上 千穂	事務長	藤田 信義
教 頭	植田記久乃	分教室教頭	小澤真由美	小学部主事	井鍋 恭子
中学部副主事	菅野 圭	高等部主事	田中 康暁	肢体訪問統括	山本 由希
教務主任	和田加恵子	コーディネーター	篠原 小春		

4 議事録

*司)司会 委)委員 学)学校職員

(1) 校長挨拶

今日は中学部が県内の修学旅行に出掛けている。コロナ禍ではあるが、少しずつ日常を取り戻すべく進めている。先日は公開授業研究会で京都大学の石井英真先生に御来校いただいた。先生のお話にもあったが、学校で集まって学び合うことの大切さを再認識している。11月のもえぎまつりは、限られた数ではあるが外部団体も入る。後期もつながり合い、学び合うことを目指して取り組んでいく。

(2) 協議

ア 令和4年度学校経営計画取組進捗状況について

学)【本校、分教室より進捗状況の説明】

委)本校、分教室共に多くの取組をしていることに感心する。とてもしっかりやっている学校だと思う。しかし、先生方にとっては気が抜けない状態でもあると思う。今は、年度途中でプロセスの状態であるが、結果を共有して成果を喜び合う楽しい職場であれば、大きな問題は起こらないと考える。何%達成できたか数字で表されているが、授業改善できたという具体的な内容(例えば、評価規準のことがよく話題になるが、こうすれば規準が考えやすかったという具体的な考え方等)を共有していけば、教師の専門性が向上し、ますます活気が出てくるはずである。

委) ICTの取組が進められているが、他校ではコロナでの学級閉鎖がまだある。元気なのに自宅に長時間いるのはなかなか難しい所もある。Zoomでの授業など、在宅時の支援なども考えているか?

学) 現在は、iPadなどが整備され、使い始めの段階である。授業ではICTが徐々に浸透して

きている。特に訪問教育では、家庭と学校、家庭同士などを Zoom でつないで授業を行う取組をしている。まずは児童生徒が ICT を十分に使えることが必要である。そして、最終的には家庭に端末を持ち帰ることも視野に入れている。

委) 自分もそうだが、やるが多くてやめていいことをいつも探している。学校もやることが多いと思う。さらに、昨今は災害をはじめ様々な危機の対応に当たることも多い。そんな中ではあるが、学校はまず授業を大切に思う。大人がやりたいことが子どもがやりたいこととつながらないこともある、ということに気をつけなければならない。働き方も多様になっているので、大人の間接も時代に合わせてアップデートしていく必要がある。キャリア教育を進めていく時には気を付けてほしい。

委) ヒヤリハットが9月までで16件ということだが、外部からの指摘などはあるか。

学) 外部からそのような連絡があったときには、迅速に対応し、事実関係を確認している。また、校外学習の機会には、地域の皆様に教員の児童生徒への働き掛けを見られているということを念頭に置き、日々の指導を振り返るように呼び掛けている。校内では理解を得られるであろうやり方でも、一場面だけを切り取って見ると印象が悪く感じられることも多いからである。

委) 学校の主役は子どもである。吉田特支は、児童生徒に学校生活についてのアンケートを取っている所がとても良い。自分で「できた」「次はこんなことに挑戦したい」と感じられることが大切だからである。そういう意味では、教科の指導で身に付けた力を実際の生活場面である合わせた指導の中で生かして、存分に力を発揮できるようにしていくと良い。個別の指導計画の作成にも、三者面談などで本人を参画させていく、主体性を持たせる取組を考えると良い。

学) 本校の研修テーマは「やりたい、できた、わかった」としているが、その先の「またやりたい」という気持ちに持っていくまでが大切だと考えている。子ども自身がどんな力をつけたいと思っているかという点にも迫っていききたい。

イ 令和4年度コミュニティ・スクールの取組について

委) 着々と進められていてよいと思う。中高の取組には社会科（地域の産業）の内容も入っている。地域をフィールドにしていろいろな人との関わりを持つと、実際の子どもの力が出る。机上の学びを実生活で生かすこと、そしてその姿をしっかりと見取ることが教員にとって大切なこと。

学) いただいた御意見は、今年度の教育活動に生かしていくよう教職員一同で共有する。

(3) 報告

学) 【本校各部等の状況報告】

(4) 学校参観

児童生徒の学習の様子

(5) 閉会

